

文庫あれこれ◆無性に季節感を目で感じたくて、でかけるたびに空を泳ぐ鯉のぼりを探したのですが、数えるほどしかみかけませんでした。鯉のぼりをあげる家庭が少なくなったのかしらん?◆GW後半、珍しくこの近辺を孫たちと一緒に楽しみました。松川湖、小室山。小室山なんて、50年通過するだけで初めてでした。天気がよかったからでしょうか、紅いつつじが目にまぶしく美しかったです。たくさん歩き、みどり野を満喫しました。◆文庫の庭の姫シャラも緑の手を広げています



◆5月1日は子どもの本9条の会主催の講演会に行ってみました。詩人のアーサー・ビナードさん(息子と同年)の「ミイラ憲法」と題するお笑いのような話ぶりの底にシビアな警告をきいた気がしました。◆さて、今晚(5/6) たまたまNHKの「日本のこれから」?を観ました。<若者の草食系>について、いくつかのグループに分かれて討議していました。草食でも肉食でも雑食でもよいけれど、個々の生活に充足できればいい、普通に暮らしたいだけなんだという若者に、戸惑いと不安を覚えました。普通の生活が彼らにはすでに与えられていて、普通の生活をするために、普通の生活を維持するために、先人が努力してきたことは置き去りにされているような。お隣さんや周りの友人が大切というけれど、国が他国に侵食されつつある危機感を感じないの? それとも世界はひとつ、誰とでも手をつないでいけば、みんなしあわせて安易に考えているのでしょうか。脳天気のものちょっと考え込んだひとときでした。◆前回、『ミスター・ピップ』の紹介を書きましたら、会員のNさんから、こんなコメントをいただきました。「20数年前、遺族会のグループを案内してブーゲンビル島に行きました。航空路はフィリピンのマニラ経由でした。翌日は、ガイドとサポート隊を募集、どこから聞きつけたか朝には宿舎の前に半裸の男達が群れていました。トラック2台と総勢20名の探検隊?は山本長官機を求めてジャングルの中へ出発しました。途中車を捨てて山岳地帯は徒歩行、さしずめジュラシックパークのような密林の中を川の力で喉の渇きを癒しながら登りつづけました。長官機の残骸は原型を留めず僅かな外郭と部品のみでしたが、お神酒とタバコを捧げてご冥福をお祈りしました。海外旅行歴のなかでも特異な体験で今でも印象に残っております。」◆そして、またまた偶然、ある本で、ニューギニアで生き残った人の凄絶な話を讀みました(文庫在)。◆明日はほとんど雨との予報ですが、今夜はすばらしい星空です。明日から、文庫の準備。書架も少し工夫してみましよう。

♥緑の季節、アートフェスティバルの季節、8日~16日まで、何回も文庫をお楽しみください♥

♡これからこの催し物のお知らせ♡

7月18日(日)

午前 10:30~12:00

文庫開設記念子どものためのおはなし会

午後 4:30~7:00

10周年記念・海の日のおはなし会

8月:夏休みロングオープン(14~22日)

10月:秋の夜長のおはなし会(16日)

12月:クリスマスお楽しみ会・おはなし会(19日)

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆6月は通常。19日(土)、20日(土)

◆7月は通常。17日(土)、18日(日)

◆8月は14日(土)~22日(日)

◆文庫の時間:土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時

◆毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。

午前10:30~11:00

◆文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日ではなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》

みんなで勉強会(おはなしの会・沙羅)

★次は秋のおはなし会に向けて、お話を決めましょう。

# 沙羅の樹文庫便り

No.45

(2010年5月号)



相模川の鯉のぼり

こいのぼり

いらかの なみと くものなみ  
かさなる なみの なかぞらを  
たちばな かおる あさかぜに  
たかく およぐや こいのぼり

風薫る5月になりました。  
自然の中でたつぷり、英気を養いましょう

連絡先: 沙羅の樹文庫

電話 0557-51-3737

★座のオのオから切念！オオ！

## 『うちしたのはだれよ!』(ヴェルナー・ホルヴァルト文 関口裕昭訳 偕成社 93)

めがみえないもぐらくんでした。もぐらくんがじめんからかおをだしたとき、あたまのうえにうちがおちてきました。わたしがおもしろかったのは、しかえしをすることで。おなじうちで。でも、あいてのおおきないぬのあたまにおちたのは、すっごく小さいなまっくろい、ソーセージのようなもぐらくんのうちでした。それでももぐらくんは、しかえししていきもちだったというところがおかしかったです。(東京都世田谷区立松原小1年 中家千花)

♥左利きの手で、やっと憶えたひらがなを駆使して、書いてくれました。休暇のときにたくさん読んで帰る会員です♥



### お勧めの本

ロマン・ロラン著『魅せられたる魂 上・下巻』  
(宮本正清訳 みすず書房 1956.6)

突然こんな古い本について書き出すことになりました。私が持っている本には「21歳」の書入れがありましたから、もう50年近く前のことになります。この本は私のその後の人生に多分一番影響を与えたのではないかと考えています。でも何度も読み返すには、上下2巻、700ページ、2段組み、という大部なものですから、手元にはあるものの、拾い読みをするのがせいぜいでしょうか。

この本はアンネット・リヴィエール(リヴィエールはフランス語で「川」の意味で)という、第一次大戦前後に生きた女性の一生を書いたものです。いきなり非婚で子どもを生んだり、異母妹があらわれたり、破産したり、戦争に巻き込まれる子ども「マルク」の一生などにもふれながら、反ファシズム、反帝国主義を貫いて強く生きた女性の一生です。

臆病で、正義も貫けない私には、主人公アンネットの生き方は、強くて、足元にも近づけないような、すさま



じいものですが、若い私は「あんな風に生きたい」と強くひきつけられたのです。「充実した、知的な、大胆な生活であって、決して安泰のなかに眠りこけるような休息の生活ではなく、烈風と嵐と行動の生活であり一世の中や彼との一戦闘の生活であり一疲労と辛酸の生活ではあるが一しかし二人の生活であり、一人生であり、一生きる価値のある生活であり、また最後には疲れ果てて、苦しかった豊かな生涯と別れること、それを生きたことを楽しく思って死にうる生活なのである一それは立派だった！しかし力をもたなければならなかった・・・」そんな箇所に傍線を引いています。なんて若くて純粋だったことか・・・。影響を与えられたとはいえ、強くも、大胆にも生きられなかった、小心者の私ですが、でも社会の悪に目を向けて、少し誰かの(働く女性の)役に立って生きたいと心にとめてきました。「お金よりも大切なものがある。」子どもたちにはそのことだけを伝えたかったと思います。(中西 景子)

★時には、遠い青春の記憶を辿って自分の立ち位置を確かめる。あの頃読んだ本の影響の大きかったことよ。★



### 山崎豊子著

『不毛地帯 全5巻』『沈まぬ太陽 全5巻』(新潮文庫)

リバイバルブームというのでしょうか？書店には平積みで目立つところ置かれていました。今頃読んでどうするのと思いましたが、沙羅の樹文庫の書架にあったので借りました。私の現役時代に連載小説として執筆され、大筋はそれなりに知っていました。

どこかで解説か抜粋を読んでいて、すっかり読んだような気になっていたんだと思います。

登場する「壱岐正」「龍崎一清」のモデルと言われている「瀬島龍三」氏には、ある講演会に参加した折、お顔もお声も聞き、知っていたのに全編通して精読したことがなかったなんて何と残念なことだったかと今更後悔しております。いかに小説の世界とはいえ、ここまで過酷な運命のもと「正義」を貫き通した男の物語り、私の気楽なサラリーマン時代と照らし合わせると恥ずかしい限りです。

しかしながら人事とか、出世などとは無縁と思っていた私でさえも、この小説の随所に垣間見られるサラリーマンの悲哀というか、組織の非情さは現実に肌で感じていました。

最近の新入社員は海外勤務をしたがらないという経営者がいますが、「恩地元」ように家族を犠牲にしてまで新興国(今はこう呼ばれている)に喜んで行く社員が少ないのもこの本を読めば頷ずけます。

ハワイでおはぎのようなゴキブリを見ただけで悲鳴をあげてしまう私が「カラチ」や「テヘラン」「ナイロビ」なんかはどうしていけるのでしょうか。(今ならナイロビは行きたい)

「沈まぬ太陽」第4巻 155 ページから 162 ページにかけ読み進むうちに感情の昂ぶりを抑えることが出来ず、この歳に似合わず思わず涙が込み上げてきました。「忠臣蔵」なんか「バカバカしい」と思っていた私が、こんなに簡単に「コロッ」と泣かされるとは、まだまだ甘いな～って苦笑しております。

どうしてこんな安い航空運賃が出せるのかおかしい・・・同時代に同じ業界に身を置き、日々の営業ノルマに追わっていた私も、新興勢力との入札で何度か敗れた苦い記憶があるだけに、「国民航空＝日本航空」と読み替えると、今ようやくその謎も解け、「特殊法人」などの腐敗の根源に迫るこの本は、時空を超え昨日出版されたかのような錯覚に落ちいってしまいます。

小説の舞台となった昭和の時代も遠い過去のように思っていた今、改革！改革！と言われるほど当時とほとんど変わっていない日本人のDNAに、どうにもならない閉塞感を抱いてしまいます。

その「沈まぬ太陽」も、昨年とうとう沈んだかに見えたが、ドッコイ未だ復活を窺う姿には、日本経済のスクラップ&ビルドがうまく機能しない見本のようなのです。

また日本郵政の社長解任も、小説の国見会長更迭とあまりにも酷似しています。著者の時代を先取りした感性に改めて驚いてしまいました。

「坂之上の雲」や「竜馬伝」が日本再生の処方箋のように喧伝されていますが、天国の司馬遼太郎さんからいいかげんにしろと言われそうです。(電脳大魔王)

## 子どもの本

## 絵本

幼児絵本:『ぴょーん』『すこしはきれいに』『ばんつもいいな』『ぼそろいパンツ』『ねえどっちがすき?』『とんとんとめてくださいな』

3歳から:『きのうえのほいくえん』『ママ、あててみて!』『でこちゃん』『おさんぽ さえこちゃん』『テーブルのした』『だっこして いいこいいこ』『いっぱい やさいさん』★以上、中家千花ちゃんから寄贈。ありがと!

新しい本:『なんのかたち はる』『こぼんざくら』以上2冊著者より寄贈。『こしおれすずめ』『花咲爺』『ことろのぼんば』『つみきのいえ』(はじめアニメ映画で世界的賞をたくさん受けたものを絵本化:大人の好きな話?)『かあさんをまつふゆ』『はじまりの日』(ボブ・ディランの Forever young の絵本化)以上購入。

## ノンフィクション

『エンザロ村のかまど』★購入した日に、まだ若い絵作者沢田としき氏逝去。

『エコでござる 1の巻 江戸のびっくり省エネ生活』『2の巻 江戸のおどろきリサイクル生活』『3の巻 江戸のゆったりスローライフ』★エコでござるシリーズは中家颯子ちゃんより寄贈。

## 読み物

低学年向き読み物:『おばけのジョージてじなをする』『大きい1年生と小さな2年生』

中学年向き読み物:『リスとツバメ』

高学年向き読み物:『ハーブガーデン』『少女イス地下の国へ』

## 子どもの本(寄贈本の中から)

4月にHさんからいただき、5月に書架に並ぶ絵本・読み物を紹介します。

## 絵本

幼児えほん:『おてて たっち』『ともだちくろくま』『うれしくて うれしくて』『こちょこちょももんちゃん』『なっとうさんがね』『じゃんけん ぽん』『ともだちキリン』

3歳から:『ヌンフ』『はしれはしれ』『まねっこまくん』『ぼくがまもってあげるね』『リタとナントカ』『ぼくはおにいちゃん』『ひなまつりのこびとのおはなし』『めだかのきょろちゃん』『ほわほわさくら』『ホーホー!きれいだな』『チリとチリリ ゆきのひのおはなし』『ぽんとくちゃんのぼうし』『ペネロペのいちにち』

5歳から:『ぼくだけのおにいちゃん』『中田くん、うちゅうまで行こ!』『じぶんの木』『小学生になる日』『クリスマスのかね』『心をピンにとじこめて』

## 読み物

低学年から中学年:『なぞなぞうさぎのふしぎなとびら』『りんごひろうきょうそう』『とらざえもんはまじょのねこ?』『おやつにまほうはかけないで』『たっくんとぼく』『ま夏の夜は、たんけん!』『わたしのプリン』『さくらの下のさくらのクラス』『しょうぼうしょは大いそがし』『空からきたひつじ』『ケルップの友だち』『デイジーのおさわぎ動物園』

高学年向き:『ダッシュ』『チームふたり』『トラム、光をまき散らしながら』『あそび町うらしま通りさんかく地』『鬼が瀬物語 2』『鬼が瀬物語 4』『月の青空』『朝霧の立つ川』『優しい音』『へんてこりんですてきなあいつ』『ぼくはおじさん』『ねこかぶりデイズ』『甘党仙人』『氷石』『7 days wonder』『リズム』『私のピーターパン』『トーキョー・クロスロード』『空の絵本』『いちまでもここでキミを待つ』『誰かがうしろに』『北の動物園できた12のお話』『命をつなぐ250キロメートル』『クララ。いっしょに走ろう』『ズッコケ中年三人組』『復活の日』 海外の読み物:『ムーンランナー』『ヒマラヤの風によって』『るると魔法のぼうし』『リンカンがひげをはやしたわけ』『父さんとキャッチボール』『銀のらせんをたどれば』『パディ』『シートン動物記トミノ』『セラピー犬からのおくりもの』など

## 大人の本・購入本

『天地明察』(沖方丁著 角川書店)※2010年度本屋大賞 『オー! ファーザー』(伊坂幸太郎著 新潮社)

『オープン・セサミ』(久保寺健彦著 文藝春秋)『天国旅行』(三浦しをん著 新潮社)『名作童話 新美南吉30選』(宮川建郎編集 春陽堂書店)『三国志 1~5』(小前亮著 理論社)※中高生の男の子に薦めたい本 『ロジー・カルプ』(マリー・ンディアアイ著 小野正嗣訳 早川書房)※これで01年フランスの2大文学賞のひとつ・フェミナ賞受賞、もうひとつのゴンクーン賞もほかの作品で09年受賞。※リクエスト

『ヒトラーの秘密図書館』(ティモシー・ライバック著 赤根洋子訳 文藝春秋)※リクエスト

『旅の途中一人の世を「身の丈」で生きる』(多川俊英著 日本経済新聞出版社)『亀が鳴く国-日本の風土と詩歌』(中西進著 角川学芸出版)※リクエスト 『ショパン 奇蹟の瞬間』(高樹のぶ子著 PHP研究所)※CD付き 『葬られた王朝』(梅原猛著 新潮社)『大地に刻みたい五人の証言』(渡部豊子編集・発行)

『大転換-危機に立ち向かう企業』(日本経済新聞社編 日本経済新聞出版社)『武庫川女子大学栄養クリニック いきいき栄養学』(小西すず編著 診断と治療社)

『旅芸人のいた風景』(沖浦和光著 文春新書)『出家とその弟子』(倉田百三著 岩波文庫)『清兵衛と瓢箪・網走まで』(志賀直哉著 新潮文庫)

## 子どもと子どもの本研究資料

『飛ぶ読書室-この本がおもしろいよ』(紀田順一郎著 みくに出版)※小中学生のための名作ガイド

『幸福の書き方』(清水真砂子著 洋泉社)『フランスの公共図書館 60のアニメーション』(ドミニク・アラミシエ著 辻由美訳 教育資料出版会)『子どもの心に灯をともしわらべうた-実践と理論』(落合美知子著 エイデル研究所)『二人語り・虎の巻』『三人語り・四人語り・クラス語り』(末吉正子著 一声社)

寄贈書『いつまでも中国人に騙される日本人』『会社再建』『無理なく続けられる年収10倍アップ勉強法』『無一文の億万長者』『中原中也詩集』『子どもが育つ魔法の言葉』『子供を伸ばす算数』『お母さんをえらぶ赤ちゃん』他

# アートフェスティバル 沙羅の樹文庫 展示品 についてのご紹介

## 図書館を使った調べる学習コンクール

### 優秀作品(複製)の展示

アートフェスティバルに参加以来、毎回の展示です。このコンクールは、NP0図書館の学校と(財)日本児童教育振興財団が主催し、文部科学省、東京都教育委員会、読売新聞社、毎日新聞社、日本図書館協会、その他の後援を受けています。

毎年、全国の小学生～大人まで、「これ何だろう?」「どうしてだろう?」と思って、図書館で調べてまとめたものが、数千も応募され、その中で、厳しい審査を受けて優秀作品に選ばれたものの展示です。

みなさんの生活に密着した面白いテーマがいっぱいです。好奇心からはじまり、不思議のなぞを突き止めまとめる。みなさんの作品をみて、ぜひあなたも挑戦なさってみてください!

### 文部科学大臣奨励賞

ヒメゲンゴロウがやってきた! /日本のたんぽぽはどこへいった? /ミミズと彬どこへ行く? /ふるさとの歴史 /「演説」人々を魅了する力とは /図書館の学校・日本児童図書出版協会賞 ほか  
乗り物酔い克服大作戦 /涙はどうしてしょっぱいの? /ハーフのチヨウチョちゃんを誕生させ

き?

ほか たくさん あります。

### 手作り絵本展 グループ・豆の木

★わたしはだぁ〜れ? ★ハヒフヘホはひふへほ★クイズかんじにちょうせん★ ?メェー ★いただきます  
(松下雅子)

★きたないなんていわないで★酒屋 四方山ばなし  
春夏秋冬 商売繁盛★お菓子で綴る二人の世界  
(森島洋子)

★何がきこえる? ★だいすきなひととき  
(八木立子)

★きりがみ 春 ★花のふるさとを訪ねて 2008  
花カレンダー (門矢光穂)

★マンションだれがすんでいるのかな★おばあちゃんのはたけ★花火 はいたつします★ひよろひよろむら  
★おかしづくりのだいすきなおおきなおおきなおとおとこ (山本晶子)  
★ままのうた | 春の野原から | ★おはなちゃんのおはなし

はるのはな★おひっこし そしてわたしもえかです  
(重田八千穂)

★すごいぞすごい★よっちゃん大好き  
(古賀真由美)

### 文庫の仲間・手作り絵本

★太郎山のおなら 渡部明子  
★車で5分の里山 大場みき

### SEIKOMORI 「村上春樹」文庫

海辺のカフカ 上下/ねじまき鳥クロニクル 1~3 /ダンス・ダンス・ダンス上下/ノルウェイの森 上下/アンダーグラウンド/世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド/東京奇譚集/もし僕らのことばがウィスキーであったなら/やがて哀しき外国語/アフターダーク/夜のくもざる/スプートニクの恋人 /TV ピープル/偉大なるデスリフ/神の子どもたちはみなおどる/辺境・近境/国境の南、太陽の西/ふしぎな図書館/THE SCRAP/遠い太鼓/波の絵・波の話(共著)/「そうだ、村上さんに聞いてみよう」 ほか  
♥♥♥これらの本は会員の森さんのお嬢さん・晴子さんの蔵書を寄贈していただきました。♥♥♥